「働ぐごどは楽しいがんす」

出番！おじいちゃん・おばあちゃん

《234》

星野　高丸さん（78歳・鳥居）

☆……両親は栃木県と福島県生まれでござんすが、わだすは安家（岩泉町）で生まれ六歳のとぎ親に連れられで普代村に来ますたった。☆……兄弟は六人、子どもは五人持っていますんが。☆……去年妻を亡ぐしてからは、それまで一緒にやってだった「ホウレンソウ」六棟（パイプハウス）、「短角牛」三頭を一人で稼ぐようになりますたども、それが生ぎがいになっていだがんすう。☆……孫も家には三人、外孫も合わせれば九人で寂しいごどは一つもなござんす。☆……働ぐごどは楽しい（笑）。

文芸の世界

川柳（5・7・5）

川柳愛好会　二月例会作品

サスペンス事件の鍵を握る女　　嵯峨　待女

春近し老いも元気に鍬握る　　佐藤　秋峰

ゆきずりで声を掛けられドッキリし　　三上　翠香

ゆきずりと思えどハッとするコピー　　深渡　汀女

ゆきずりの人振り向けば会釈する　　むじな同志鍵かけ合ってやり過ごす

朝市で声高々と元気まく　　孫元気サイレンさえも聞こえない

合鍵で夫婦仲良く共かせぎ　　有頂天心のドアを見透かされ

戦った元気な頃の物語　　川代三智男

ゆきずりの女を偲ぶ星の夜　　たまに来る孫から元気貰ってくる

盆踊り手と手が触れた日の夜　　稲村　綾子

鍵開けて入る我が家にほっとする　　ゆきずりに覗いた店で無駄遣い

是非つけたい私の口にデッカイ鍵　　加差野静浪

我が長所元気が取り柄しかも口　　戸締まりと心に一つ掛ける鍵

ゆきずりの人から貰ういい話　　メル友の元気な声の初電話

掲示板

三陸鉄道からお知らせです！

三陸地域の交通手段である三陸鉄道は、利用者数が年々減少しています。

平成13年度の利用者数が昨年12月末には、953,522人で12年度に比べると63,523人の６㌫も減少しています。このままの状況が続くと、本年度の利用者数は昨年度から約８万人減の122万人となることが予想され、開業ブームで沸いた昭和59年のピーク時、269万人の半数をさらに下回る45㌫の利用者数になります。

沿岸住民の100年にわたる悲願に応え建設された三陸鉄道です。

皆さん、通勤や通学などの他にも三陸鉄道が企画するイベントに参加したり、どんどん三陸鉄道を利用して、盛り上げていきましょう。